

地震に備えて

住まいをチェック！

ブロック塀などの安全点検を

お願いします！

建築住宅課 ☎(45) 6314

6月18日に最大震度6弱の地震が大阪府北部を襲いました。

今回の地震では、道路に面するブロック塀が倒壊し、下敷きになった歩行者が亡くなるという痛ましい事故が起きました。私たちの身近にあるブロック塀は、地震によって、人に危害を加える凶器になることがあります。

下記のチェックポイントを参考に皆さんの住宅などに設置してあるブロック塀について、安全点検をお願いします。

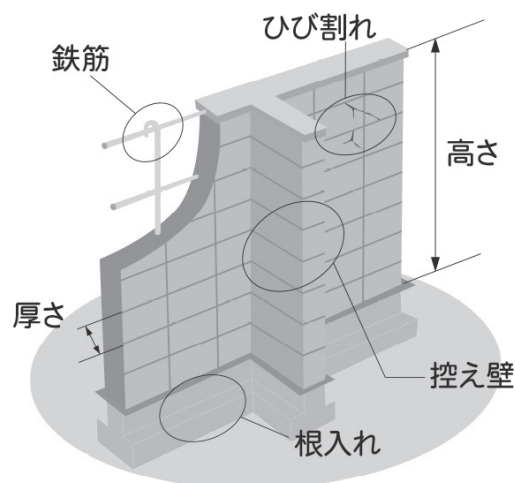
ブロック塀などの点検のチェックポイント

ブロック塀などについて、以下の項目を点検し、一つでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

分からないことがある場合は、建築住宅課(※)については建築士などの専門家)にお問い合わせください。

【ブロック塀の場合】

- 1 塀は高すぎないか
塀の高さは2.2m以下か
- 2 塀の厚さは十分か
塀の厚さは10cm以上か(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3 控え壁はあるか(塀の高さが1.2m超の場合)
塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁があるか
- 4 基礎があるか
コンクリートの基礎があるか
- 5 塀は健全か
塀に傾き、ひび割れがないか
- 6 塀に鉄筋は入っているか(※)
 - 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか
 - 基礎の根入れ深さは30cm以上か(塀の高さが1.2m超の場合)



【組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合】

- 1 塀の高さは1.2m以下か
- 2 塀の厚さは十分か
- 3 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか
- 4 基礎があるか
- 5 塀に傾き、ひび割れはないか
- 6 基礎の根入れは20cm以上か(※)

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改